

TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月15日
我孫子市小中一貫教育だより
第286号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT「情報モラル」

2月7日に我孫子第四小学校の第6学年で、情報モラルの学習が行われました。

「インターネットの光と影」をテーマにその利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用することの大切さを学習しました。

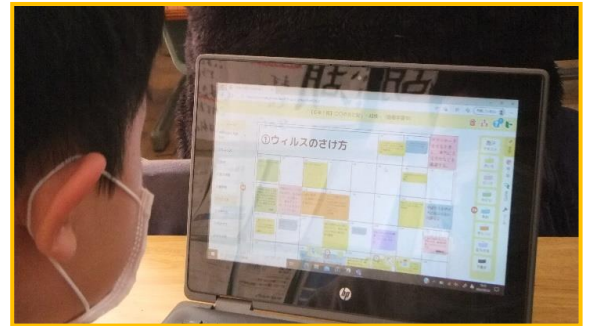
学習の前半では普段の生活の中でインターネットを利用することが数多くあり、スマートフォンでのコミュニケーションツールやインターネットゲーム等、すでになくってはならないものであると多くの子供たちが答えました。



しかし、使用する時に気をつけていることも出され、ネット犯罪、詐欺、個人情報搾取等の危険性を併せ持っていることを学級全体で確認しました。

学習の核となる部分では、コラボノート EX を活用し、同一のデジタルノートにそれぞれの意見を出し合いました。

ほとんどの学習が画面上で行われ、ICT の活用がしっかりと定着していることが伝わってきました。



Abi-ICT「プログラミング」

2月2日に我孫子第一小学校の第3学年で、プログラミングの学習が行われました。

3年生にとってはプログラミングという言葉は聞いたことがあるが、その意味をよく知らない児童がほとんどです。先生は子供たちに対して電化製品やレストランの接客ロボット等の具体例を示し、身近な生活の中で広く活用されなくてはならないものとなっていることを分かりやすく説明しました。

学習では PC 室の端末を利用し、「ジャストスマイル/プログラミング/東西南北で宝さがし」に取り組みました。この学習プログラムはロボットに東西南北の向きと歩数の指示をプログラミングしてロボットをゴールまで誘導させるものです。

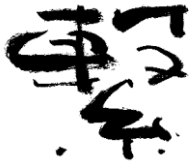
児童にとっては初めてのブロック操作でしたが、すぐに操作方法に慣れてロボットを思い通りに動かしていました。



学習はさらに「効率のよいロボットの動かし方」に及び、最も少ない手順でロボットを目的地まで誘導するためのプログラムが理想的であることを確認すると、児童は「効率」を念頭によりよいプログラムになっているか確認しながら取り組んでいました。

学習のまとめでは、更に取り組んでみたいことや本時の感想等が発表されました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続におけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月15日

我孫子市小中一貫教育だより
第287号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT「情報モラル」

2月7日に白山中学校の第1学年で、情報モラルの学習が行われました。

この学習では SNS 上で扱われる個人情報を中心に、その重要性はもちろん隠された危険性や自分が被害者や加害者にならないための方策について学びました。

先生は、学習の導入としてあることがきっかけで自分の個人情報 SNS 上に載せられてしまい、それが原因で思いもしない事態になってしまった事例を紹介しました。



生徒たちは小学校でも情報モラル学習を経験していますが、改めて個人情報の重要性を確認できました。

「友達同士だからいいだろう」「兄弟だから弟のことを教えてもいいだろう」と安易に考えてしまうことも、その情報を2次利用されないとは限らないので、これまで以上に自分や自分の身の回りの人の個人情報や、見聞きして入手した個人情報についても慎重に扱おうとする行動力につながりました。

Abi-ICT「プログラミング」

2月7日に白山中学校の第2学年で、プログラミングの学習が行われました。

学習は技術科の「情報」分野の一環で、今回はプログルという Web サイトを利用して先生が事前に学校登録をして行われました。

プログルでは小学生が取り組める簡単なプログラム作成ツールもありますが、ここでは最終的に4つのプログラムを作成します。完成すると学級内で画像とテキストを送受信できるチャットルームが実行できます。小学校での学習と違い、ここでは双方向性のプログラムの仕組みを学びます。また、それぞれ4つのプログラムが全て正しく機能しないと実現できません。小学校で経験した内容よりもはるかに複雑です。



本時の学習の中心は画像をチャットルームに送るときのプログラムの作成です。サイズの大きい画像ならば、それをプログラムが判断してリサイズまたは圧縮して送信します。生徒たちはトライ&エラーを繰り返し、グループで協力しながら課題を達成していました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月24日

我孫子市小中一貫教育だより

第288号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English「ペアトーク」

2月8日に布佐南小学校第5学年で、Abi-English が行われました。同じ中学校区の先生も見学に来ていました。

今回は、今まで学習した表現を使いながら、ペアの人とやりとりをするということを主として行いました。まずはウォームアップとして歌を歌います。ALT が“Everytime I Look in Your Eyes”を流すと児童は歌詞カードを見ながら大きな声で歌いました。その後、デジタル教科書を使って“Welcome to Japan”も歌いました。先生たちと曲に出てきたフレーズを確認しながら楽しそうに歌っていました。

次はペアワークシートを使って、相手への質問の仕方と答え方を練習しました。先生の後に続いて発話練習をしたり、ALT の質問に答えたりとたくさん発話する練習をしました。また、リアクションについても先生から話があり、コミュニケーションを円滑にするにはリアクションが必要だということを確認しました。“Wow.”や“I see.”など相手の答えによって反応することを学びました。

次はペアでの練習です。隣に座っている友達と2分間お互いに質問をし合いました。ワークシートを見ながら積極的に質問し合うだけでなく、しっかりとリアクションをとる姿があり、積極的にコミュニケーションをとっていました。最後は列ごとに質問する役、答える役に分かれ、前に出て発表しました。中には話し手の目をしっかりみてアイコンタクトをしようと心がけている児童もいました。文章で答えることができない児童も先生からの「単語だけでも伝わるよ」の声掛けに励まされ、勇気を出して話す姿が印象的でした。



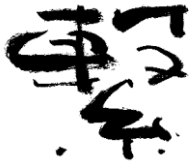
Abi-English「Fruits」

2月14日に根戸小学校第2学年で、「友達に好きなくだものを伝えよう」を今日のゴールとして Abi-English が行われました。校内の先生も見学に来ていました。

まずはウォームアップとして前回の復習である「数」の確認をしました。担任の先生が数の書かれたフラッシュカードをめくると、児童たちは大きな声で、英語で数字を読み上げました。『12』の発音が難しかったのですが、ALT の後に続いて言うと多くの児童がきれいな発音で言うことができました。

続いて、今日のゴール「友達に好きなくだものを伝えよう」と担任が黒板に書くと、多くの児童が「I like だ」とすぐに反応しました。そして ALT の後に続いて、果物の言い方を確認しました。その後、先生たちがアクティビティの見本を英語で見せました。今日のキーワードである “What fruit do you like?” “I like ○○” が出てくると、児童は何を話しているのか予想しました。ALT と言い方を練習し、アクティビティに入りました。ジャンケンをして “What fruit do you like?” と尋ね、言われたカードを交換するというものでした。自分の好きなカードを5・6枚と嬉しそうに集める児童がたくさんいました。その後、見学に来ていた先生に好きな果物を英語で尋ね、その果物カードを3枚以上持っているとしールがもらえました。最後に果物ビンゴをして、授業が終わりました。挨拶を終えた後に児童の口から自然と「楽しかった！」と出てくる素敵な授業でした。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年3月13日

我孫子市小中一貫教育だより

第289号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT「プログラミング」

2月24日に根戸小学校、3月1日に湖北小学校の第5学年で、それぞれプログラミングを用いて正多角形を作る授業が行われました。それまでの算数の学習で児童は多角形の性質を学んでおり、その性質を振り返りながら、プログラミングで正多角形を作図していくという授業でした。

最初に担任と一緒に正三角形を始めとした多角形の性質を確認しました。多角形の中に三角形がいくつでき、それぞれの内角の和がどのようになるのかを全体で共有し、それが作図をする際の大切な数値であることを学習しました。

次に教科書のDコンテンツ「EDUTOWN プログラミング（東京書籍）」にアクセスして、正方形の作図に挑戦しました。ここでのプログラミングとは、「順番に処理」と「繰り返して処理」の2つを組み合わせるという学習をしました。

さらに、正三角形の作図に挑戦しました。正方形の作図を参考に、何度回転させればよいか、3～4人での学び合いが始まりました。すべてのグループが意欲的に学び合い、結論を導き出したグループは「PCで確認しよう」と自分たちで学習を進めたり、主体的にDコンテンツの次の課題に取り組んだりしていました。

どちらの学校でも、目を輝かせて1時間の授業に熱中したすべての児童の様子から、プログラミングを使ったPCでの作図作業が児童の学びにとっても有意義であることを感じる授業でした。



Abi-ICT「プレゼンテーション」

3月9日に我孫子第四小学校の第4学年で、PCでコラボノートを使用しながらプレゼンテーションの基本を身につける総合的な学習の時間の授業が行われました。題材として、「おうちの人に千葉県の魅力を伝えよう」という目標を設定し、千葉県各地の魅力に関する調査活動を行い、県の名産品や景勝地、現状を把握しながら、今後の地域の在り方について見直します。そして、プレゼン用の資料を作成し、より効果的なプレゼン方法を仲間と学び合い、最終的なゴールとして家族の前で発表するという流れです。

本時は、PCを活用した推敲活動を仲間と協働して行い、自分や仲間の発表内容の良さや改善点に気づき、プレゼンをさらに良いものにしていくという時間です。まず、プレゼンを良くするポイントを細かく確認して全体で共有しました。その後、児童はPCで既に撮影してある自分自身の発表動画を見ながら、ワークシートに良い点や改善点を記入しました。次に、グループでお互いの発表動画を順番に視聴し、良い点や改善点を伝え合いました。児童は、友達に認められることで、より自信を深めたようにも感じられました。最後に学習の振り返りを行い、「個の学び」を「全体の学び」となるよう情報の共有を図りました。

「良い発表にしたい」という児童たちの意欲が、1時間の集中した取り組みの様子に表れており、この後、子どもの発表を聴いている保護者の嬉しそうな表情が思い浮かぶとともに、参観者も「ぜひ生のプレゼンの様子を見てみたい」と思わせてくれる授業でした。

